

2014年3月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

**Q. 2013年3月期の営業利益について。中間期が18億円の営業損失で、通期が103億円の営業利益となっているが、この要因をご説明頂きたい。(神戸会場)**

A. 主な要因は遊技機の販売時期の影響によるものです。

2013年3月期は遊技機の販売において、上半期10万台に対し、下半期22万台と下半期に販売が集中した結果、上半期では営業損失となりましたが、通期では103億円の営業利益となりました。

**Q. 2009年3月期の営業利益が大きく下がっているが、要因は何なのか？(神戸会場)**

A. 2009年3月期は、主力パチンコ機「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売時期を戦略的に見直し、次期の販売としたことなどにより、営業利益が19億円となりました。

**Q. パチンコ・パチスロの「エヴァンゲリオン」シリーズが業績を左右しているのか？(神戸会場)**

A. 従来は「エヴァンゲリオン」シリーズへの依存度が高く、その販売動向と業績が連動しておりました。

現在は、遊技機メーカーとの提携を強化し、商品ラインアップの拡充を進め、ゲーム性・エンタテインメント性の高い商品を安定的に供給できる体制が整いつつあり、これに伴って業績も安定してきております。

**Q. 国内でカジノが解禁されるという話があるが、フィールズはどのように関わるのか？(神戸会場)**

A. 仮に、国内にテーマパーク、劇場、カジノなど、様々なエンタテインメントを統合した施設が開設した場合、国内外から訪れた幅広い方々を楽しませるためにも、日本独自のコンテンツが必要不可欠になると考えています。

当社では、知的財産を活用した商品やサービスの展開を進めており、カジノを含む統合型リゾート施設においても、知的財産の展開先の一つと捉え、日々、調査・研究を重ねています。

**Q. 海外展開について、お聞かせください。(神戸会場)**

A. 国の政策として、日本のアニメやゲームといったコンテンツなどを、海外に売り込んでいこうとするクールジャパン戦略が進んでおりますが、当社におきましても、海外でも知名度のあるウルトラマンを中心に当社保有の知的財産を活用したコンテンツの提供など、事業化を推進してまいりたいと考えております。

2014年3月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

**Q. パチンコは参加人口が減少し、雑誌も廃刊になっているが、将来性はあるのか？(京都会場)**

A. 当社では、既存ファンの支持拡大と新規顧客の創造を第一義に、有力な提携メーカーとともに知的財産を活用した魅力的な遊技機の企画開発を進めており、引き続き、業界の成長と発展に向けた諸施策を進めていきたいと考えています。

**Q. ゲームの分野では、ユーザーがスマートフォンへ移行しているが、スマートフォンに対しても知的財産を提供していくのか？(京都会場)**

A. 当社は、知的財産を多メディアに供給しており、スマートフォン向けには「AKB48」などを活用したソーシャル・ゲームを展開しています。今後は、自ら創出した知的財産などを活用したソーシャル・ゲームを複数展開し、収益の拡大を図っていききたいと考えています。

**Q. 株主優待に対する考え方をお聞かせください。(京都会場)**

A. 当社は、株主還元について、経営上の重要な課題と考えており、特に配当を重視しておりますが、株主優待につきましても、今後、当社のビジネスを深くご理解頂くためにも、検討を重ねていきたいと考えています。